

イチオシ!

M OVIE

『Pink SUBARU』

主人公は寿司職人のアラブ人、ズベイル。稼いだお金でようやく手にした彼の愛車「スバル」が、何者かに盗まれたところからストーリーは始まる。ズベイルが住むイスラエルのタイベはパレスチナ西岸地区との境界線沿いにあり、車泥棒が多く住む街として有名。地の利を生かし、中心部で盗んだ車をパレスチナ西岸の街トルカレムに運ぶのだ。そこで車は解体され、再び組み立てられて販売される。イスラエルでは日本車の「スバル」は大人気で、幸せの象徴。長年の夢だった妹の結婚式が目前に迫る中、姿を消した愛車を彼は取り戻せるのか。紛争のイメージが先行するこの地域で繰り広げられる、ささやかな幸せを求める“普通”の人々の生活を描いた作品。



© Revolution ink.

2010年／イタリア・日本／98分

監督：小川和也

出演：アクラム・テラーウィ、ラナ・ズレイク、ミハ・ヤナイほか

公開：4月16日(土)より、UPLINK X(東京・渋谷)にてロードショー

URL：www.pinksubaru.jp

E VENT

「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 世界一大きな授業～女の子と女性の教育～

学校に通えない世界の子どもたちについて考える授業を、日本全国で一斉に行うキャンペーン。昨年は、小中高351校から約4万人が参加している。事前申請すれば、小中学校や専門学校などグループ単位で誰でも参加できる。今年は、「国際女性の日」(3月8日)100周年に合わせ、「女の子と女性の教育」がテーマ。途上国での教育の現状や、女の子や女性が教育を受ける意義などを皆で考えてみよう。

期間：4月18日(月)～24日(日)

参加条件：全国の小中高校、大学、専門学校、塾、グループなど

参加費：無料

参加方法：ホームページより

URL：www.jnne.org/gce2011/

問：「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局(プラン・ジャパン内)

TEL：03-5481-0030

B OOK

『モノから見える世界の現実 軍服のモスキート』

太古の時代から人間を悩ませ続けてきた小さな生物、モスキート=蚊。蚊が媒介するマラリアは、結核、HIV/エイズと並ぶ世界三大感染症の一つだ。世界人口の約半分の30億人が危険にさらされており、年間の感染者は3~5億人、うち死に至る約100万人には多くの幼い子どもたちも含まれている。効果的なマラリア対策のために必要なのは、まず「敵を知る」ことから。マラリアと植民地・戦争の関係のほか、温暖化の影響による分布の変化や駆除の歴史など、幅広い視点から蚊の脅威を知ることができる一冊。

この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ



リチャード・スウィフト 著
森下麻衣子 訳
合同出版
1,155円(税込)

B OOK

『池澤夏樹=個人編集 世界文学全集Ⅲ-02 黒檀』

ポーランドの新聞・雑誌・通信社の特派員として100カ国以上を訪れ、数々の傑作ルポタージュを世に送り出したジャーナリスト、カプシチンスキ。徹底した現場取材を貫き、いわゆる「第三世界」の人々の声を世界へ届けることを使命としていた彼が、40年以上にわたって追ったのがアフリカだ。その中から、ポーランドの日刊紙に連載されたルポを翻訳したのが本書。ウガンダの独裁者の素顔に迫る「アミン」やアフリカ最大の青空市場を描く「オニチャの大穴」など、一般市民の生の声をもとに綴られた真実の物語が収められている。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

リチャード・カプシチンスキ 著
工藤幸雄/阿部優子/武井摩利 訳
河出書房新社
2,730円(税込)